

2025年6月25日

各位

東京都千代田区神田錦町2-1-1  
安田不動産株式会社  
代表取締役社長 安田 守

## 2025年3月期 決算（単体）について

以下の事項について、別紙のとおりお知らせいたします。

1. 2025年3月期 決算（単体）

（本件に関するお問合せ先）  
安田不動産株式会社  
経営企画部 尾村・平田  
TEL 03-5259-0517

1. 2025年3月期決算（単体）

(1) 貸借対照表及び損益計算書の要旨（単体）

貸借対照表の要旨

(2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>30,320</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>17,871</b>
現金及び預金	15,200	1年以内返済長期借入金	11,204
その他の資産	15,119	その他の負債	6,667
<b>固 定 資 産</b>	<b>355,365</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>204,142</b>
有形固定資産	246,385	社債及び長期借入金	165,278
建物	84,333	その他の負債	38,863
土地	157,751	<b>負 債 合 計</b>	<b>222,013</b>
建設仮勘定	1,783	<b>株 主 資 本</b>	<b>125,417</b>
その他の資産	2,517	資本金	270
無形固定資産	9,709	資本剰余金	10
投資その他の資産	99,270	資本準備金	10
		利益剰余金	125,136
		利益準備金	67
		その他利益剰余金	125,069
		<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>38,254</b>
		その他有価証券評価差額金	38,254
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>163,671</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>385,685</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>385,685</b>

損益計算書の要旨

自 2024年4月1日

至 2025年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営業収益	40,510	特別利益	24
営業原価	24,610	特別損失	32
営業総利益	15,900	税引前当期純利益	12,597
販売費及び一般管理費	4,911	法人税、住民税及び事業税	3,803
営業利益	10,989	法人税等調整額	▲186
営業外収益	3,431	当期純利益	8,980
営業外費用	1,815		
経常利益	12,605		

(2) 2025年3月期業績の前期比較と2026年3月期の業績見通し(単体)

①収益の概況

	2025年3月期	2024年3月期	増減	前期比
営業収益	40,510百万円	39,375百万円	1,135百万円	+ 2.9%
営業利益	10,989百万円	10,708百万円	280百万円	+ 2.6%
経常利益	12,605百万円	12,908百万円	▲302百万円	▲ 2.3%
当期純利益	8,980百万円	9,754百万円	▲773百万円	▲ 7.9%

※百万円未満を切り捨て

②主要な収益項目の内訳

	2025年3月期	2024年3月期	増減	前期比
不動産賃貸事業収益	26,590百万円	23,816百万円	2,773百万円	+11.6%
不動産販売事業収益	10,460百万円	11,368百万円	▲908百万円	▲ 8.0%
不動産流動化事業収益	1,362百万円	1,966百万円	▲603百万円	▲ 30.7%
仲介鑑定・その他収益	2,097百万円	2,224百万円	▲126百万円	▲ 5.7%

※百万円未満を切り捨て

③2026年3月期の業績見通し(単体)

	2026年3月期	2025年3月期	増減	前期比
営業収益	390億円	405億円	▲ 14億円	▲ 3.6%
営業利益	82億円	109億円	▲ 27億円	▲ 25.1%
経常利益	97億円	126億円	▲ 28億円	▲ 22.9%
当期純利益	68億円	89億円	▲ 21億円	▲ 23.8%

※1億円未満を切り捨て

### (3) 2025年3月期業績の補足説明

#### ① 総括

当社の経営成績は、大型ビルの通期稼働や保有ビルの空室率の低位安定、賃料単価上昇等による貸室料の増加など好材料もあった一方、減価償却費や営繕費等の増加に加え前期計上の固定資産売却益の剥落等があり、営業収益は前期比 2.9%増の 40,510 百万円、経常利益は前期比 2.3%減の 12,605 百万円、当期純利益は前期比 7.9%減の 8,980 百万円と、前期比増収減益となりました。

#### ② 部門別営業収益概要

不動産賃貸事業につきましては、前期及び当期に竣工したビルの通期・新規稼働に加え、テナント誘致活動や賃料改定への注力及び宿泊施設の売上向上等による貸室料の増加により、前期比 2,773 百万円増の 26,590 百万円となりました。

不動産販売事業につきましては、レフィールオーブ南行徳駅前、ノード日本橋安田ビル、レフィールオーブ両国の売却があったものの、前期計上の大型ビル売却収益には及ばず、前期比 908 百万円減の 10,460 百万円となりました。

不動産流動化事業につきましては、前期収受した私募ファンドの物件売却に伴う配当金の剥落が主要因となり、前期比 603 百万円減の 1,362 百万円となりました。

仲介鑑定・その他事業につきましては、大口仲介案件の減少が主要因となり、前期比 126 百万円減の 2,097 百万円となりました。

### (4) 2026年3月期業績見通しの補足説明

2026年3月期は、営業収益 390 億円、営業利益 82 億円、経常利益 97 億円を見込み、営業収益は 14 億円の減収、経常利益は 28 億円の減益となる見込みです。

以上